

# 一酸化炭素中毒の発生事例

北海道労働局労働基準部健康課

## 平成 29 年発生事例（休業 1 日以上：速報値）

発生月	業種	発生概要	被災者
1 月	道路貨物 運送業	被災者は、トレーラーを運転して車両の運送を行っていた。トレーラーのマフラーに穴が開いていたため運転席に流入してきた排気ガスにより被災した。	1 名（休業）
1 月	飲食店	炭火焼きハンバーグ専門店において、来客が途絶えたので炭を起こしていた釜の換気を弱めたところ、ホール係員が被災した。	1 名（休業）
4 月	自動車整備業	被災者等は整備工場内において、暖房用に使用していた廃油ストーブの煙筒の継ぎ目の一部が外れていたため、工場内に煙と臭いが充満し、作業中の労働者 7 人が被災した。	7 名（休業）
9 月	建築工事業	外壁の石綿含有塗料の除去作業現場において、養生されている玄関前の庇下でエンジン式発電機 2 台を稼働させ、養生した足場内に排気していたところ足場内で石綿除去作業を行っていた 2 名が被災した。（内 1 名は一人親方）	1 名（休業）
10 月	その他の 建設業	当日午前中にマンション地下室にある受水槽の鉄骨架台の錆取り作業を行った後、換気のため昼休みの間、地下室に持ち込んだ発電機 1 台を使用し送風機を稼働した。 昼休み終了後、発電機を止めて作業員 2 名が地下室に入り清掃作業を開始したところ、2 名とも被災した。	2 名（休業）
10 月	製鉄・製鋼・ 圧延業	製鉄工場の高炉出銑口付近にて、労働者 2 名で出銑口耐火材貼り付け作業を行っていたところ、高炉ガス（一酸化炭素を約 30 パーセント程度含有）が高炉より漏えいし、作業を行っていた労働者 1 名が被災した。	1 名（休業）
12 月	土木工事業	潜水土に空気を圧送するための発電機から排気された一酸化炭素が、空気の取入口（ストレーナー）から混入して圧送されたことにより、作業を行っていた潜水土が被災した。	1 名（休業）

の付いた事例は、自然換気が不十分な作業場所における一酸化炭素中毒の事例

# 一酸化炭素中毒の発生事例

北海道労働局労働基準部健康課

## 平成30年発生事例（休業1日以上：速報値）

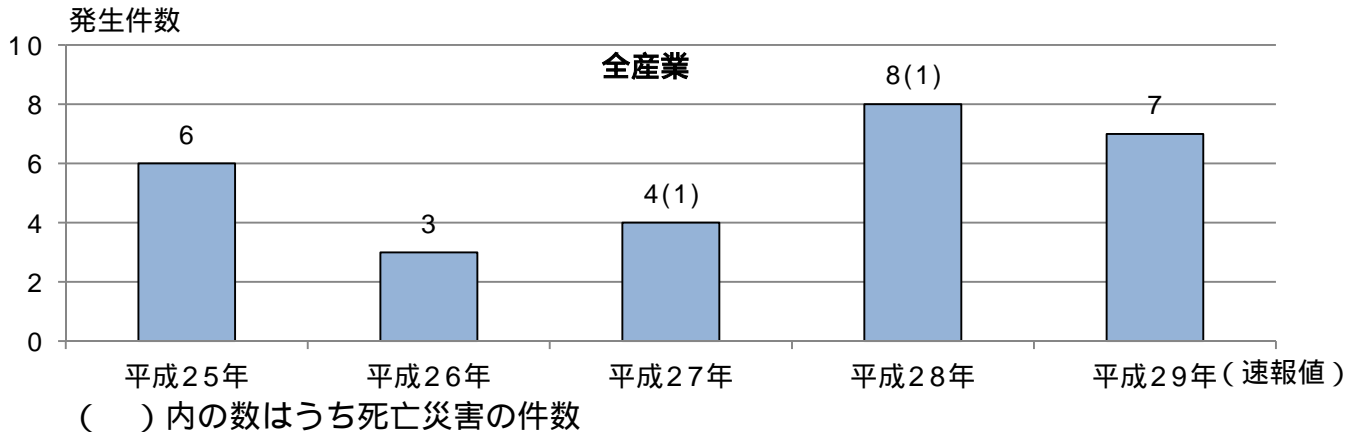
発生月	業種	発生概要	被災者
1月	ビルメンテナンス業	木造2階建て賃貸住宅のリフォームに伴い請け負った室内清掃業務を行うため、被災者は1人で小型発電機を室内に持ち込んで作業中に一酸化炭素中毒により死亡。	1名（死亡）

の付いた事例は、自然換気が不十分な作業場所における一酸化炭素中毒の事例

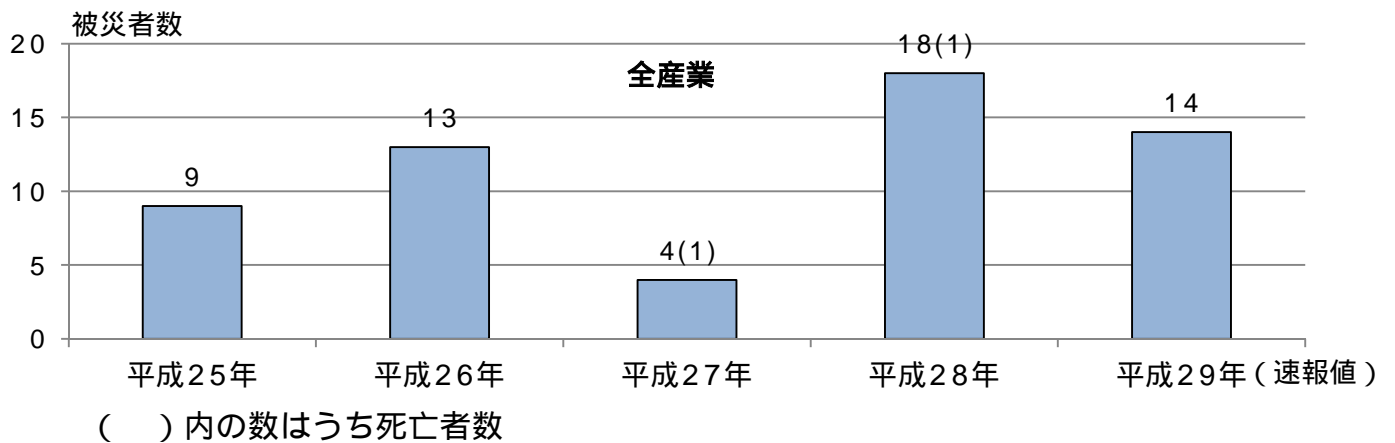
# 一酸化炭素中毒の発生状況

## 1 年別発生状況

### (1) 年別発生件数



### (2) 年別被災者数(休業1日以上)



## 2 業種別要因別発生件数(平成25年~平成29年)

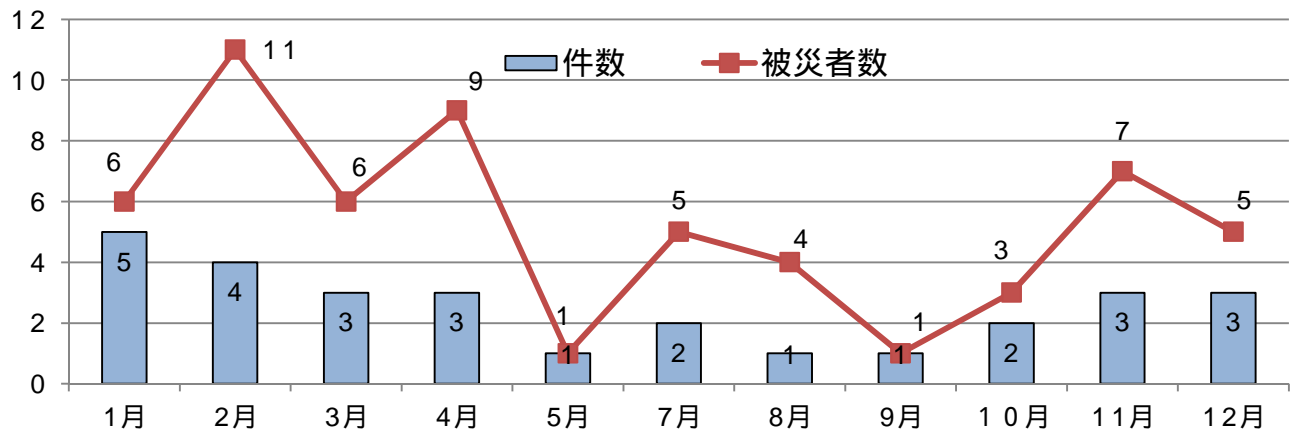
業種	起因物								合計
	内燃機関	練炭	炭	ガス釜	廃缶ストーブ	ガス暖房機	副生ガス		
製造業				1(7)	2(11)		2(2)	5(20)	
建設業	8(14) 1	3(8)						11(22) 1	
運輸業	2(1) 1							2(1) 1	
畜産業						1(1)		1(1)	
商業	3(4)							3(4)	
倉庫業	1(1)							1(1)	
社会福祉施設								0(0)	
飲食店			3(4)					3(4)	
その他	2(3)							2(3)	
合計	16(23) 2	3(8)	3(4)	1(7)	2(11)	1(1)	2(2)	28(56) 2	

( ) 内は休業1日以上の被災者数

内の赤書きの数字は死亡者数

### 3 月別発生状況（平成 25 年～平成 29 年）

発生件数・被災者数



6月は発生なし